

令和3年度政府予算における 戦没者遺族処遇改善項目

一、遺族年金等（別表）
 二、戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給
 10億8300万円
 支給事務経費の増（支給対象件数約85万6百人）
 三、遺骨収集事業等の推進
 27億6400万円
 (1)遺骨収集事業
 21億5100万円
 【実施地域】
 ・現地調査及び埋葬地調査（12地域）フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、マリアナ諸島、ミヤンマー、インド、トラック諸島、マーシャル諸島、インドネシア、パラオ諸島、その他南方地域、旧ソ連地域
 ・遺骨収集（16地域）フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、インドネシア、パラオ諸島、マリアナ諸島、トラック諸島、

マーシャル諸島、ギルバート諸島、ミヤンマー、インド、樺太、沖縄、硫黄島、その他南方地域、旧ソ連地域
 (2)海外公文書館の資料収集
 1700万円
 (3)遺骨の鑑定
 5億6000万円
 ①鑑定実施体制の充実
 2億7600万円
 ②戦没者遺骨に関する研究の推進
 2億8300万円
 (4)遺骨・遺留品の伝達
 3500万円（うち、戦没者遺留品の返還に伴

う調査二式の経費1450万円）
 四、戦没者慰霊事業等
 6億2700万円
 (1)全国戦没者追悼式挙行経費
 1億9500万円
 (2)慰霊巡拝等
 4億3100万円
 ①慰霊巡拝 9900万円【実施地域・12地域】
 フィリピン、東部ニューギニア、ビスマーク・ソロモン諸島、トラック諸島、インドネシア、ミヤンマー、北ボルネオ、中国、硫黄島、旧ソ連地域等
 ②政府建立慰霊碑の補修

等 5300万円（補修調査・ビアク島、補修工事・ビアク島）
 ③海外・国内民間慰霊碑の管理 2000万円（海外民間建立慰霊碑1000万円、国内民間建立慰霊碑1000万円）
 ④慰霊友好親善事業 2億5900万円（広域地域・14地域792人、特定地域・3地域108人）
 五、昭和館事業
 4億5900万円
 六、戦没者遺族相談員の謝金
 一人当たり年額・2万6000円

公務扶助料等年額一覧表

種類	令和3年4月より(月額)	対象遺族
公務扶助料	1,966,800(163,900)	軍人(少佐まで同額)
特例扶助料	1,573,500(131,125)	軍人(少将まで同額)
扶養加給	72,000	軍人
先順位遺族年金	1,966,800(163,900)	軍属、一部軍人
同 遺族給与金	1,966,800(163,900)	準軍属
同 特例遺族年金	1,573,500(131,120)	軍属・一部軍人
同 特例遺族給与金	1,573,500(131,120)	準軍属
後順位遺族年金	72,000	軍属、一部軍人
同 特例遺族給与金	56,400	準軍属
他に公扶受給のある者の年金	193,200	軍人
特設年金	456,400	軍人、軍属、準軍属
特例特設年金	335,000	同上
対馬丸特別支出金	1件・年額 1,376,760	遭難学童

(注) 上記の年額表は、日本遺族会事務局による試算で、多少異動することもあるので、ご了承下さい。